

## 取組と目標に対する自己評価シート（フェイスシート）

タイトル	介護給付の適正化
<b>現状と課題</b>	
<p>当市における認定者数は3,000人前後で推移しているが、全国や全道の平均値と比較して、要支援認定を受けている軽度者の割合が高く、要介護3以上の中重度者の割合が低い傾向にある。そのため、当市の課題としては、認定の重度化を防ぎ、軽度者が自立していけるよう適切なケアプラン作成及びサービス提供が行われるよう給付の適正化事業に取り組んでいく必要があると考える。</p> <p>縦覧点検・医療情報の突合については、平成30年度より北海道国民保険団体連合会へ委託し、実施している。</p>	
<b>第7期における具体的な取組</b>	
<ol style="list-style-type: none"><li>①要介護（要支援）認定の適正化</li><li>②ケアプラン点検</li><li>③縦覧点検、医療費情報との突合</li></ol>	
<b>目標（事業内容、指標等）</b>	
<ol style="list-style-type: none"><li>①市職員が認定調査の内容を点検することにより、適切かつ公平な要介護認定の確保を図る。</li><li>②ケアプラン点検を行うことにより、個々の受給者が真に必要とするサービスを確保するとともに、その状態に適合していないサービス提供を改善する。</li><li>③点検を行うことにより、請求内容の誤り等を早期に発見して、適切な処置を行う。医療と介護の重複請求の排除を図る。</li></ol>	
<b>目標の評価方法</b>	
<ul style="list-style-type: none"><li>● 時点<ul style="list-style-type: none"><li><input checked="" type="checkbox"/>中間見直しあり</li><li><input type="checkbox"/>実績評価のみ</li></ul></li><li>● 評価の方法<ol style="list-style-type: none"><li>①職員の技能向上、審査会の円滑な進行に寄与されたか</li><li>②その人にあった自立支援に資する適切なケアプラン作成となっているか</li><li>③不適切な給付の発見、給付費の返還につながったか</li></ol></li></ul>	

